

平成28年度 第4回 理 事 会 議 事 録

場 所	桔梗が丘市民センター 202号室
日 時	平成28年8月27日(土) 9:30～11:45
出 席 者	出席者：辻森、大垣、上田、河合、杉中、吉村、阪本、北森、竹原、武仲、 上島、木村、廣岡、松岡、福森監事、植野監事 大西地域担当監、森嶋福祉子ども部長、田中医療福祉総務室長、 他1名 欠席者：西宮、廣岡、加納
会長挨拶	大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 ＜辻森会長＞ 皆様のご協力で夏まつりが、盛大に無事行われたことに対しお礼申し上げます。祭では、子供も、若い人も、高齢者の方も本当に楽しんでおられました。地域の皆さまの参加によって桔梗が丘全体のつながりが出てくると思います。地域が一同に会する祭の機会、一つの絆が生まれて来るのではないかと考えています。今後とも、祭を中心に色々な方法を考えていきたいと思っておりますのでご支援よろしくお願いいたします。
地域福祉教育総合支援システム	議事に先立ち、名張市から「地域福祉教育総合支援システム」について説明があった。 福祉子ども部 森嶋部長によるシステムの紹介の主旨 ・生活課題や地域課題を抱えた全ての対象者に対して、地域・行政・社会福祉協議会など多くの福祉等に係る機関・団体が協働することによってその包括的な相談や支援体制を作っていこうということです。 ・支え合いの仕組みについては、これまでに、地域の中での支え合いの体制を作っていたので、それを基本に複雑・多様化する課題に対応するためのネットワークを作る。 ・関係する機関・団体が、今まで以上に協議し、より複雑化した課題に対応したい。 福祉子ども部医療福祉総務室 田中室長による説明の主旨 これまで様々な部分で地域と協働しながら取り組みを進めてきたが、色々複雑化してくる中で、行政の方はまだまだ縦割り、対応が遅いという意見があり、今回できる限りスピード感を持って対応できるように取り組んでいきたい

意見交換	ということで、このシステムの整備を行います。 行政内部の縦割りの障害を解決するため、権限を持った人材を配置して、地域と、相談しやすい、顔の見える関係づくりを行い、より一層調整・連携をとれるような形で進めていき、協働もより強固なものにしていきたいと考えている。 共働き世帯、核家族世帯、単身世帯、高齢者世帯、ひとり親世帯といった様々な世帯の中で、生活困窮の問題であったり、認知症の問題であったりと各世帯の中で、問題が複雑化している。こうした問題について、分野ごとの相談は、最近支援する仕組み・サポート体制ができていますが、行政の方も新たにエリアディレクターという、包括的に相談調整させて頂くような職員を配置して、縦割りを排除して、今までできていた部分に横の連携を取りながら対応し、調整していこうと考えている。 今回の仕組みの中での主要なポイントは次の通り。 ① エリアディレクターという形で職員を配置し、各分野の担当の相談員が支援する職員との連携を強化しながら、最終的には寄り添い支援を進めていけるような形で対応する。 ② エリアネットワークの充実という事で、顔の見える関係にし、県の企画の職員とももう少し幅広く連携を行って、スピード感を持って対応できるような関係づくりをしていきたい。 ③ エリア会議の実施と個人情報保護の徹底ということで、様々な問題については、それぞれの地域の方にもご協力頂きながら、問題に対して解決策や支援策を考えていく必要がある場合には、各地域で検討していく会議を開いていきたいと思っている。ただ、個人情報の問題には細心の注意を払いながら、進めていきたいと考えている。 ④ 最近、貧困の問題ということで生活困窮とか色々話は上がってきているが、一番被害を受けているのが子どもさんというケースが多い。食事が十分でなかったり、虐待を受けたりというケースが見られるが、こういった場合には教育機関との連携というのが重要になってくる。今までも学校との連携を取りながら進めているがより以上に教育機関との連携を取り、進めていきたいと考えている。 いずれの取り組みについてもすぐに解決できるというような問題ではないが、今後こういった調整を、できるだけスピード感を持って対応していきたいということで、今回職員の配置を考えていますのでご協力をよろしくお願いします。 ・説明を聞いたが、行政と地域はお互いに固く結んでいなければいけない中で、地域は何をしなければいけないのかがよく分からない。 → 複合的な課題をもった対象者に対する支援をし、課題を解決していくためには地域づくりの組織を中心に、行政が協働するなかで、さらに福祉や医
------	--

	療・教育関係の関係団体が、課題に応じて対応するという事です。常に関係メンバーが定期的に会議をするということではありません。 ・システムの運用について、それぞれの事例の中でケース会議を持つということだが、現状も一つ一つの問題について、それぞれの部署や地域の担当、色々な相談員が寄って会議をして運用されてきていると思う。それであつたらこれまでやっていることと全く一緒のことではないか。 → まずはワンストップの窓口を設ける。今まではケースによってどこへ行って良いか分からなかった。最初にまちの保険室への問い合わせから始まると思うが、複雑な案件は地域包括センターという市の部署にエリアディレクターという相談員が3名いるので、そこに相談に来てくださいというのが一つ。それと、今までもケースによって関係者が集まっていたが、県の機関の関わりが弱かったので、関係する機関をもう少し広くして、多くの関係する団体の方に協議に入ってもらく。この二つを大きく発展させていこうということで基本は変わらない。 → 基本的には今までとは大きく変わらないと思っているが、複雑な問題が出てきた場合に、エリアディレクターという形でいろいろな部署・団体とトータル的に調整できる仕組みを作って対応できれば良いと考えている。緊急の対応が必要な場合にも、エリアディレクターが関係機関に声をかけて調整できるものと考えている。 ・エリアディレクターはいつ配置予定か。 → 今年の11月からこの体制を整える。 ・3名と書いているがこれは地域部みたいに1名が決まった地域を持つという形のなるのか。担当制にするのか。 → 地区割りは考えていない。全体を3名で持つ。 ・ある程度の権限ありと言っていたが、どういう権限があるのか → 権限というのと、専門性と。専門的には社会福祉とか保険師とかの資格を持った地域福祉の人で、経験があり、掌握できる。それと権限というのは、今回、エリアネットワークの中で関係機関、地域づくりの会議等をお願いしたいといったところ等についてはこのエリアディレクターが中心にそれぞれの関係機関との調整をさせて頂くことになる。 ・会議は定期的ではない。要請があつた場合と言っていたが、顔の見えるというネットワークにしたいというなら、このエリアディレクターが地域部みたいに、各15地域の理事会とか、連合会に顔を出して、そこで問題点を拾い上げるくらいのことをしてもらわないといけない。問題が起こってからでは遅い。問題を拾い上げる準備をして会議に出る。それが顔が見えるお付き合いではないか。何か問題が起こった時に全員集めて、ここはこの分担というのでは話にならない。そういう会議に出るという事を優先的に考えてもらわないと、情報・問題点のピックアップはできないし、何気ない話の中で出てくることもあるので、そういうこ
--	---

報告事項 1. 平成28年7月 度協議会会計及び市 民センター会計累計 報告について	とにアンテナを張ってもらうようにしてもらわないとこれは絵に描いた餅になる。 もう一つよく分らないのは、一方的な支援ではなく、「支えるひと同士も支えあう」仕組みとは何か。 ・地域によって色々差はあると思うが、エリアディレクターは固定化しておく方が良いのではないか。地域を知ってもらわないと対応できないので、名張15地域の理事会に出るか、必要とあれば区長会に出る。地域の住民の声を各区長・自治会長がつかんでいるので、区長会に出る方が良く分かる中で、エリアディレクターがどうしようかなということが必要ではないかと思う。 相談が生じた場合、初めから地域包括センターのエリアディレクターに電話させてもらってよいのか。 知識のないものがどうしたら良いか迷って、これは保健室へ行った方が良いか、区長・自治会長に相談しようかというようなことで迷っていることが結構ある。 → 私どもは、各地域の相談窓口として、まちの保健室というのを配置していますので、初期の段階で気付いた段階で、まちの保健室に声をかけて相談することをお願いしたい。まちの保健室は、自分達だけでは解決できないという分については、地域包括支援センターのボランチとして配置しているので、上に上がってくる仕組みになっている。 さらにその他に現実に複合的な問題を抱える専門的なエリアディレクターという相談員もおく。 ・まちの保健室が15地域で充実している。まちの保健室に行ったらエリアディレクターにつながる。どこにも連絡しないでまちの保健室に行くことを検討してもらいたい → そういう形でも良いと思います。 → 最後になりますが、今回これを進めていく中で決起集会的なものを持ちます。11月13日の日曜日を予定しています。またご案内させていただきますがご参加頂ければと思います。10月にこの決起集会の前に、一度関係機関の方にお集まりいただこうと思っていまして、それは改めて相談させていただきます。 ・本システムは11月実施ですので、今出た質問を精査してもらい、10月の区長会で一度話をしてもらってはどうか。 ＜松岡事務局次長＞ 協議会では収入は7月まででほぼ終わっている。支出は1,199,277円で特別な予算以外の支出はなく、累計で9,578,599円です。この中でコミュニティ活動費として約510万円が入っていますが、活動費としては440万円程で、約4カ月で支出したということです。予算からすると約25%ということなので大体計
--	---

3. 第2回地域づくり代表者会議について	しますが、中身は任せて頂きたいと思います。よろしくお願いします。 <辻森会長> 第2回地域づくり代表者会議の事項書に基づいて簡単に説明します。 2. 各地域の課題等について (1) 比奈知は山間部であり、近くに川が流れているため、一時避難所さえなかなか確保できないという形の中で議論して、最終的には市の危機管理室ということで現場確認になっています。 (2) すずらん台は警察による地域パトロール強化ということで、色々な暴走族等々、夜間騒がしいのですが、警察に言ってもなかなか来ないということでその地域の代表者名と市長名で警察署長に出して下さいということになった。 (3) 梅が丘の小学校の校舎が空いてきた。その利用・活用についての相談です。 3. 関係機関からの依頼事項等について (1) 中学校の通学路合同点検について、協議会は各区長・自治会長宛に連絡がいつていると思う。それと保護者の方、道路管理者、警察が立ち会って現状の通学路の点検が行われます。 (2) 農業委員選出方法の変更とその周知方法については、桔梗が丘は対象になっていません。 4. その他について (1) 第11回隠街道市への出店を希望される方は連絡下さい。 (2) 平成28年度議会報告会の開催について、当協議会は理事会の後ということで理事会のある11月26日の昼からに設定しました。 他の地域からホームページを見たら全て載っているので議会報告会は要らないという話があったが、当協議会は例年の通り市議会報告会と、意見交換会の形式で行います。 報告会の議員の編成は、10月度で各委員のメンバーが変わるのでその後に決まります。 (3) 名張ゆめづくり協働塾が添付資料通り実施されます。 特にセンターに関係ある事項についてはセンター長、職員の方は必ず出席願います。 なお、自治会長（区長）へも、案内願います。 → <事務局長> 5日の日の配布日に区長・自治会長宛で出します。 部会員の方、委員会の方、興味のある分は必ず出て下さい。よろしくお願いします。 ・企画運営委員からも出席願います。 → <企画運営委員長> 今日、会議で言います。 (4) ホームページは、協議会のホームページと市民センターのホームページと
-----------------------------	---

	2つあるのでそれについてです。 大西地域担当監より内容の説明があった。 ・市民センター化になるのでホームページを統一するということですが、桔梗が丘では、地域づくりのホームページは別にサーバーを持っているので、市の統一したプラットフォームに乗らないで、独自にあるのでそれは置いておきます。桔梗が丘については市民センターのもので良いので市民センターのものとリンクを貼って、一体化するような仕組にしたいと思っています。 <辻森会長> ・協議会のホームページは色々な課題が多いので内容が固くなることは仕方がない。できるだけ見易いホームを検討します。
4. 地域づくり組織 代表者と市議会議員 との懇談会について その他 ・当協議会総務委員 会主催 講演会	<辻森会長> ・同じ日にありました市議会議員懇談会について、内容的には名張市の防災対策についてが中心でした。簡単な議事概要は頂いています。議事内容は事務局ファイルを見て下さい。
委員会・部会活動報 告 ・総務委員会	<大垣総務会長> ・総務委員会主催の講演会が 10 日の 1 時半から行いますので是非参加願います。 ・10 月の理事会は、第 4 土曜日が 22 日になり、市民センター祭がありますので 29 日に変更します。 ・草津市玉川学区まちづくり協議会が 9 月 30 日に 30 名以上で視察に来られます。会長と他の皆さんに出て頂く形になると思いますので、よろしくお願いします。 ・視察関係では、下関の方と地方自治研究機関の方、それに雑誌社の方が来られて、夏まつりの後、市民センターで約 3 時間弱お話をした。記事にして全国発信するらしいので、視察が増える可能性が高くなると思います。記事が来たら皆さんにお見せしたいと思います。
・企画運営委員会	<辻森会長> ・内容的には、いかに若者が色々な地域会に参加するかという話と団塊の世代の方も参加するというのが話のテーマになった。 <大垣総務委員長> ・8 月は夏まつりがあり、総務委員会は開催していない。 ・9 月 10 日の講演会に向けて準備を行っている。 <阪本企画運営委員長>

意見交換	添付資料「８月度企画運営委員会報告」に沿って説明があった。 企画運営委員会は、今晚開催予定です。なおプロジェクトの事業報告はお手元にありますように ○ ほっとまち茶房ききょうについて ・歌声喫茶を８月 24 日開催。 ○ 子どもたちと地域の絆づくり事業について ・８月 11 日に東小においてサマーキャンプを行った。 ○ みどりの会について、福森監査から報告があった。 ・１日に定例の公園の清掃を行い、桔梗の苗の配布等も行った。 ・植樹祭等の樹種視察を行う予定です。 ・ナラ枯対策予防のための準備を８月 28 日有志で行うことになっている。 ○ ききょう農楽園について ・毎週土曜日に水撒きをしている。地域フェアまでによくできるかどうか手入れが大切だと思っている。 ○ お助けセンターについて ・配食分科会は 17 日に開催され、外出支援分科会は 31 日に開催予定です。 ・ほっとまちフェスタについて、会場別、時間別行事が報告された。会場は市民センターおよび桔梗の森公園で、予定されている行事が紹介された。 ・続いて添付資料「行事別主要部署名」に沿って説明があった。 ・ほっとまちフェスタのチラシについて チラシは、A 3 のカラーコピーで、裏面は健康推進で、表面は各部会の事業部、プロジェクト事業部の紹介を行う。 生活安全部会の住居表示については、写真だけで紹介してはどうかと思うが、生活安全部会の紹介の中に組み込むほうが良いのか意見をいただきたい。紹介内容のチラシに載せる原稿を今月末までに頂きたい。原稿を載せるか写真だけ載せるかを決めて頂いたら、チラシ構成の時にレイアウトを作ることができる。 今日の会合は、前段のレイアウトだけで、チラシ検討は事業原稿とか各部会原稿との配分をどうするかということをもみんなで検討する。 特にご意見いただきたいのはチラシ構成に当たって、重点掲載はプロジェクトとしたらお助けセンターを一番報告しておいたらよいかと思っている。 また、チラシ原稿の中に会長の挨拶、写真をぜひ表版に載せてはどうかと思う。 ・住居表示の事業報告は、今まである資料で簡単なものを作れば良い。 → チラシに載せるときこんなことやりましたという P R 的なものを載せた - い。 → どんな活動をしているか分かるものを載せてはどうか。
------	--

	・チラシに活動報告を全部載せるのは無理だと思う。地図も載せないといけないので。こういうのが出ますよというのを載せる程度でいいと思う。 → 今晚、当日の配布内容や方法、宣伝の仕方などを打ち合わせします。 - 会長の挨拶の部分は原稿と写真をお願いします。 ・挨拶よりみんなの紹介をして下さい。大げさな挨拶は要りません。 ・各ブロックの方は 11 月 11 日金曜日に必要なものを先に持ってきておいて下さい。 ・収穫祭の豚汁はブロックの第一と第二で出ているがこれは違う。焼き芋と綿菓子と言われた。収穫祭が重複しているので修正して欲しい。 → 快適環境とみどりがコラボで、収穫祭、豚汁提供は第三ブロックではなく、第二ブロックの間違いです。
広報委員会	<北森広報委員長> ・添付資料「理事会報告 2016 年 8 月広報委員会」に沿って説明があった。 ・8 月分は配布が 8 月中旬にずれた。その時の裏面は教育委員会との地域集会に関する内容で埋めようと思っていたが、教育委員会から提示が無かったということで表面だけで集会の様子を載せた。 ・9 月は 9 月 3 日納品で進めるのでよろしくお願いします。 ・外出支援は、10 月ではスタートしているので今月載せる必要がある。チラシも作っているが、新聞は新聞ということで載せた方が良く判断している。 - 近くにいる高齢者の方に聞きますと、まだちょっと分かっていない。理解していない。値段も分かっていない。これから動き出すと皆さんも分かってくると思う。 ・それから統廃合と一貫教育シリーズは住宅販売に影響が出ているということで載せる。
健康推進部会	<吉村理事（西宮健康推進部会長が欠席のため吉村理事が代理で報告）> 添付資料「桔梗が丘地区敬老の日の行事対象者数」に沿って説明があった。 ・敬老の日の行事は 70 歳と 88 歳の方にお祝いの商品券をお渡しする。 - 今年は 70 歳の方が 219 名、88 歳の方が 47 名で計 66 名の方をお祝いする。 9 月 18 日に各ブロック長の家に商品券を届けますので、ブロック長の方は区長および自治会長の方に配布をお願いします。商品券の代金は 532,000 円です。 ・夏休みに子供が体操に参加した人数は、238 名で金額は 71,400 円でした。
意見交換	・「敬老の日の行事」の対象者数は 3 番町区の合計は 10 とあるが 19 の間違い。 ・夏休み補助金は、今日 5 番町から申し出があり 80 名 24,000 円が追加され、合計 318 名で、予算が 95,000 円となりましたが、予算内に収まっています。

・住民交流部会	＜杉中理事（廣岡住民交流部会長が欠席のため杉中理事が代理で報告）＞ 添付資料「住民交流部会活動報告」に沿って説明が行われた。 ・ 8月 20 日桔梗が丘夏まつりが行われた。 実施概要は次の通り。 ＊ 今年も自治連合協議会の各組織の協力のもと実行委員会を組織し、桔梗が丘全体で開催することができた。 ＊ 暑さの影響を少なくするというで開始時間を 1 時間遅くし、5 時半スタートとしたことと、桔梗丘高校吹奏楽部のパレードも沢山の中で行われ非常に良かった。 ＊ 大きな事故やケガ、熱中症による手当もなく無事終えることができた。 ＊ 昨年度と同じように盆踊りを 2 部制にして親しみやすい曲目を中心にしたことにより、小さい子の参加が増えた。 ＊ 模擬店利用券を一人 2 0 0 円にして交換できる枚数を増やしたため、途中で交換できなくなることはなかった。 ＊ 本部テント前で引換券を交換する人とイベントを見る人が重なって混雑した。 ＊ 舞台が無くなったことにより照明が後ろからあたることになり、見ている人には逆光で見にくかった。 ＊ コピーされた引換券が数枚見られた。今後の対策が必要。 ＊ 桔梗が丘駅前のシャトルバスの係を 1 時間交代で行い、一人でやる負担を減らせた。 ＊ 終わりの時刻が 3 0 分早くなっていたため、ごみ収集の時間に間に合わない店があった。 ＊ 次年度に向けて実施しながらより良いものに向け見直しをしていく。
夏まつりの反省	＊ 逆光で舞台は見にくかった。後ろからライトが当たるとフラダンスにしても何にしても逆光になって見にくかった。 ＊ 店に関して主な店はほぼ完売した。完売しなくて苦戦していたのは 2・3 店舗で、特に食べ物は大流行であった。 ハンドエステも大流行で、時間が短い割には十分多かった。 ラーメン屋は去年売れたので今年増やしたが、すべて完売した。 もくもくも短時間で売り上げが上がり、来年もやりたいとのことであった。 ＊ 人出が多かったので、舞台が無かったのは良かったが、桔 ‘ずの時にロープを張るのが精一杯だった。検討課題にしてもらいたい。 ・ 券交換と見学人が重なった。さらに参加者の保護者が前で撮りたいというのがあり多くなった。 ＊ 商店街でやっているが、お年寄りにやさしい敬老の席とかそういう所を作って欲しい。本部の方にお年寄りが座りに来ている。もっとやさしい心遣いをしな

ければいけないと思う。

＊ 場所的な問題も含め、来年度どうするか、検討していく必要があると思う。会場の広さだけではなく、色々な検討課題を精査して結論を出していく必要がある。

＊ ごみについて、今年は割と全体に少なかった。多いのはガラス製品のラムネのビンで、危ないので掃除するときは十分注意が必要だった。

＊ 駐車場はずっと回ったがそんなに満杯ではなかった。

＊ 模擬店の利用券に関しては 2,849 枚で余った。初めて券が無いと文句が言われなかった。

＊ チラシは一切配ってもらえない地区があった。同じ区費を払っていて、お隣はもらっていて私たちはもらえないと言っていた。去年も無く、毎年もらえないと言っていた。

各戸配布が徹底されていないのでないか。

＊ 場所的なことを考えると、今年は人数が多いので市民センターで行うのは無理だった。商店街も手詰まり感がある。小学校か中学校かどこか考えてもらった方が広々と取れると思う。

・学校でやった場合は駐車場も一部はそこにすれば良い。

・小学校で行った時の問題は、周りに駐車する人が多くいた。それを無くするような方法を考えて欲しい。

＊ 残念なお知らせですが、桔高に対し来年も是非にと言ったが、多くの人が抜けるのでできないとのことでした。名張青峰高校と合同でやっていないのか確認したが、やっていないので来年はありえないとのことでした。

・これだけ皆さんが楽しんでお世話になったのでさよならコンサートを来年の2月か3月に桔高の方でやってもらえないかということで、企画運営の方で企画してもらうことになっている。

・今年の12月にプチコンサートで出演頂くことになっているが、それ以外に、最後に住民の皆さんと、桔梗が丘の協議会が後援・主催という形でやった方が良いのではないかということでぜひ実現させたいと思っている。

＊ 今、地域の方で区長と評議員の方が準備に来てくれているが、昔は書記も会計も出た。昔は区長、書記、会計が一斉にお祭りの準備の役が当たっていた。それがいま、区長と評議員だけになっている。もっと広げたらどうか。南では、お祭りと言っても近所は全然知らない状態で、私だけ出て来る状態です。従って南ではバスも乗らない。もっと地域の役員から出してくれたら、若い人も出て来るし、知ってもらうこともできる。昔、会計で子供置いて手伝いに来た。昔はそういうところで人材が出ていた。

・区長とは言わずその自治会から若い人に出てもらう。人数的には今の人数で充分だが、5人出すといたら若い人も出てきて、お祭りとはこんなものだと見てもらえる。

・教育文化部会	・各行事のお手伝い、例えば駐車場の係に来て頂くとき、区長となっているが、区から2名とか3名として、その名前だけ事務局に報告して下さいというやり方をすべきだと思う。区長ばかりでは大変ですから、区から2名とか3名広く色々な人が参加するようにして、お手伝いする人の報告だけきっちり事務局にしてもらうというシステムの方が、皆さんが参加できるようになる良いと思う。 ・地域からお手伝いを出すというように変えていく必要があると思う。 * 昨年までは消防団の人は本部に待機して頂いたが基本的には公園に消火栓があり、貯水タンクがあるのでそこに交代で待機してもらった。いざという時にいつでもそれを開けて放水できるという形をとった。 * 消火器を置いてもらっているが、消防団の方から消火器がテントのどこに置いてあるかということを知りやすく札を付けるなど明示して欲しいという希望があった。 * 消防団の方は、もしもの場合のいろいろな想定をしていただき、それぞれの場合の連絡・分担割りまで緻密に計画してくれましたので大変有り難かったと思います。 * 夏まつりの参加は毎日新聞では6000人と書いてあったらしいが、やっぱり大きなイベントだから、夏まつりを活かして行かないといけないと思う。これが一番大きなイベントで、これをもっと盛り上げないといけない。 * 時間はもうちょっと早くても良いのではないかな。始まりを30分早めても良いのではないかなという気がした。ちょっとあわただしかった。 ・5時半から8時半までの3時間で良い。 ・いつもなら4時間するので1時間短くすることになる。 ・前倒しが良いかもしれない。片付けもあるから後ろは早く終わりたい。 ・今回みたいに5時にパレードが始まるならそれで良いかもしれない。 ・明るいうちが良い。 <竹原教育文化部会長> 添付資料「教育文化部会活動報告」に沿って説明が行われた。 ・桔‘ずセミナーは、昨年より延べ100人程多くの参加があった。ソーランは子供が小さかったため、大人がずっと見学しており人数が増えた。 ・祭りは舞台が無かったので子供達は伸び伸びと踊れたので舞台が無いのが良いという事でした。 ・こころの思い発表会アンケートは帰ってきた分が63部とちょっと少ないと思ったが、中身はぎっしり書かれており、今後の桔梗が丘のこととか沢山書いてくれていた。中には親が子供に電話で聞いて代筆してくれたものもあった。 今後、まとめていきたいと思う。
----------------	--

・生活安全部会	＜武仲生活安全部会長＞ 添付資料「8月度理事会部会報告」に沿って説明が行われた。 ・青色回転灯装着車両による防犯パトロールは8月25日の間違い。
・快適環境部会	＜大垣副会長（加納快適環境部会長が欠席のため大垣副会長が代理で報告）＞ 添付資料「快適環境部会」に沿って説明が行われた。
・地域福祉部会	＜上島地域福祉部会長＞ 添付資料「地域福祉部会民生児童委員活動報告」、「陽だまり」に沿って説明があった。 7月15日から23日の間友愛訪問実施。現在850家庭の訪問となっている。また、これで敬老の日の名簿や高齢者の実態調査の名簿で新しい人が沢山います。 19日になかよしひろばを行った。トーンチャイムの演奏で、保護者が33名、子どもが38名参加した。名張市の病院の看護学生が5名参加して、スタッフ等入れると100名近くになっている。 サロン報告では、例年行っている5番町の子ども達との交流会で、戦争の話をしてもらった。今年も23名が参加してくれた。
・その他 名張市社会福祉大会	前回、話したように、名張市社会福祉大会で、個人表彰に生活安全部会、区長など長年の間、活動された故吉野孝司さんと、団体表彰として快適環境部会（代表者加納康嗣）を表彰申請させて頂いた。結果はまだ届いていません。 以上で、本日の議事は全て終了。
・議事録署名人へのお願い	議事録署名人には廣岡登喜子氏および松岡雅啓氏にお願いし、兩名了承。
・次回理事会の開催	次回の理事会は、 月日 9月24日（土） 時間 午前9：30 場所 市民センター202号

	議 長 止森保蔵  議事録署名人 廣岡登喜子  議事録署名人 松岡雅啓 				
		副会長	副会長	総務委員長	書 記
					